

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 3 月 2 日作成)

小委員会名	期限付き建築物リユース小委員会		主 査 名：柳澤孝次 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 仮設構造運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：宮崎祐助
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	期限付き建築物の期限満了後に、各種部材を再利用するための条件や考え方を整理し、啓蒙書を作成する。 2005 年度：関連情報収集、関連キーワードの整理分類、目次案の作成 2006,7 年度：啓蒙書素案の作成、PD 等による会員との意見交換の実施 2008 年度：啓蒙書の作成		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：柳澤孝次 (やなぎさわ伝統建築研究室) 幹事：軽部正彦 (森林総合研究所) 委員：大山宏 (HRS オフィス)、川合廣樹 (リスク・ソリューションズ・インターナショナル)、木村麗 (建材試験センター)、木村衛 (エイ構造研)、小松幸夫 (早稲田大学)、坂井正美 (関東学院大学)、千田光 (住友金属工業)、中島裕輔 (工学院大学)、橋元正美 (清水建設)、室田達郎 (住宅金融普及協会)、野中徹 (アルミニウム建築構造協議会)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2008 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会HPアドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s31/	

項 目	自己評価
委員会開催数	15 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. 開催なし ただし、『構造部門 (仮設構造) 研究資料：建築部材のリユースに関するガイドライン (案)』を頒布
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 検討を進めてきた『(仮)建築部材リユースの手引き』の原稿が完成した (査読中)。付随して、「建築部材が繰返しリユースされる社会」「期限付き建築物に関する基本的な問題」についても、現状および将来展望を整理した。 2. 学会サーバー内に開設した当小委員会のホームページを通じて、議事録の公開など、学会会員に向けて情報提供を行った。
委員会活動の問題点・課題	1. 期限付き建築物に関連して残る検討課題については、次年度新設の小委員会「期限付き建築物小委員会」に引き継がれる。